

浜田市議会議長様

陳情番号	142
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果等	

サン・ビレッジ浜田アイススケート場の活用のあり方について、スケート場として存続する場合の想定について、最も費用対効果の高い駆動方式の採用を求める陳情

サン・ビレッジ浜田アイススケート場のあり方に関する調査検討業務報告書に於いて、スケート場の冷凍機を更新した場合の事業収支シミュレーションが50ページに載っています。ここには、設備更新費として1億9100万円が「凍機および氷上整備車の更新、付随する電気設備等の増設」に必要と示されています。

この内容について担当課に問い合わせたところ、現在設置されているディーゼルエンジン駆動ではなく、電動機駆動（モーターで動かす）冷凍機に更新する想定でシミュレーションしているとのことでした。光熱水費は年間1900万円かかると書かれており、令和4年度の実績936万円の実に2倍以上です。なぜ突然2倍になるのか、内訳を訊いてみると、「電動機駆動に変えるため、使用電力量が大幅に増える。高圧受電施設を大きなものに更新し、基本料金が、冷凍機が動かない6か月間についても毎月70万円かかる。冷凍機が動く6か月間は毎月230万円かかる。氷を張る月は余計に100万円かかる。だから1900万円かかる。」という説明でした。

在はかかっていない

しかし、現在設置してあるディーゼルエンジン駆動方式や、LPガス燃料で駆動する方式で冷凍機を更新すれば、使用電力が大きく増えることは無いため、使わない月も使う月もかかる基本料金月額70万円(年間840万円)は増えないこととなります。わざわざ費用対効果が悪い方式を選定することに経営的なメリットは無いため、担当課に理由を問い合わせました。担当課の回答は「現在の主流がモーター駆動だという説明を受けている」という説明でした。全国のスケート場でモーター駆動が多いからといって、サン・ビレッジ浜田アイススケート場でもその通りやらなければいけないことにはなりません。屋外アイススケート場や短期間設置されるスケートリンクは、そのためだけにキュービクルの設置などしないと思われるため、サン・ビレッジ浜田と同じ駆動方式のディーゼルエンジン冷凍機が使われている例も多いと思います。

電力料金単価は令和5年3月末まで1kwあたり14円程度だったものが、令和5年4月から29.88円と2倍になっています。これに対し、灯油は平成29年の価格と比べても4割ほど上昇している状態です。

現在設置されている冷凍機の令和4年度の駆動に必要な灯油代は378万円だったので、冷凍機を更新し、稼働日数が2ヶ月増えたとしても、年間700万円に満たないと考えます。毎年のランニングコストが1200万円以上も高い方式をわざわざ選定して、他の用途での活用パターンと比較しては、正しい判断はできないということになります。

合理的にもっともランニングコストの低い機種や駆動方式を選定した上で、シミュ

レーションしなければ、必要な判断材料を揃えたとは言えないのではないのでしょうか。ディーゼルエンジンなのか、LP ガス燃料なのか分かりませんが、高圧受電の設備費用も基本料金の大幅増の必要が無い方式についてもきちんと調査し、最も費用対効果の高い駆動方式を採用して、再度比較検討されるよう、執行部に働きかけてくださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2024年2月9日

浜田市国分町

三島 淳寛

